

鳥取市環境審議会（令和2年度第1回） 議事録

1. 日 時 令和2年4月21日（火） 13：30～14：30
2. 場 所 鳥取市役所本庁舎6階第5会議室
3. 出席者
 委員：吉永会長、松長委員、竹内委員、北中委員、手島委員、大口委員
 事務局：（鳥取市） 鹿田局長、坂本補佐、田中主任、田中主事
 （建設技術研究所） 柴田リーダー、梁田技師
4. 審議事項
 (1) 環境基本計画・地球温暖化対策実行計画見直し方針について
 (2) 環境基本計画・地球温暖化対策実行計画（骨子）について
 (3) 市域における温室効果ガス排出量及び削減ポテンシャルについて
5. 議事概要 以下のとおり（注：発言内容は一部要約して掲載しています）

発言者	発言内容
会 長	それでは議事に入ります。鳥取市環境基本計画及び鳥取市地球温暖化対策実行計画について事務局から説明をお願いします。
事 務 局	〈資料1～3説明〉
会 長	本日は新型コロナ対策につき、なるべく短時間で審議を終えたいと思います。原則、質問・意見は用紙に記入して後日提出していただくこととしますが、先ほどの内容について今この場で確認が必要なことがありましたらお尋ねください。
委 員	地震等の大規模災害があった際に発生する災害廃棄物の処理や他県からの受け入れは、県からの指導によって行うのでしょうか。または、鳥取市独自の判断で行うのでしょうか。
事 務 局	国の方針として、地方自治体が災害廃棄物処理計画を策定することを義務化していることから、その計画に従って各自治体で対応することとなります。鳥取市においても策定の準備を進めており、併せて条例等の改正等も必要となりますので今年度中の策定は難しいと思いますが、策定の目途は付くように動いております。
会 長	環境基本計画における「安心・安全」は平時の意味合いとして捉えてよいでしょうか。
事 務 局	一般的にはそのとおりだと思いますが、日常生活の延長線上に環境保全があると考えておりますので、単純に切り分けられるものではなく、平時とそれ以外が複合しているというイメージです。
会 長	資料3の計算式などは特に難しい内容だったと思いますが、その他に質問はありませんか。
委 員	次期計画の施策例として取り上げている「優良農地の確保」についてお聞きします。鳥取市における農業構造改善事業はほぼ完了しており、市内のすべての農地は、形式上優良農地となっていると認識しています。そのような中で現在問題となっているのは、耕作者がおらず耕作放棄地となる農地が増えていることで、病害虫による被害が多く発生し周辺の農地へ悪影響を及ぼしていることです。これは今後も増加すること

発言者	発言内容
	が予想されるため、優良農地の確保以外にも農地の維持や耕作放棄地の活用に焦点を当ててはどうでしょうか。
事務局	鳥取市の中心産業はやはり農業であると認識しており、耕作放棄地などの未利用の農地の有効活用は、環境保全の一環であり市の持続的な発展の鍵でもと考えています。このような点を少しでも項目として掲げて、市民の皆様の理解を得られる計画となるよう努めていきます。
会長	様々な計画の中で「暮らし方」や「安心安全」は産業と密接にかかわってきますが、農業による GDP が小さい鳥取市の現状においては、どうしても2次産業や3次産業に比重が置かれる傾向にあります。今の事務局の回答はそのようにならないように検討するということであり、これは非常に先進的なことであり頼もしく思います。特に環境基本計画においては、金銭ベースとは異なる視点での安心安全や持続可能な社会づくりがあつて然るべきです。農地の維持や耕作放棄地の活用においても、環境面で大きな効果が得られるという文脈にすることで、市民の皆様の理解も得やすいと思います。
委員	経済界からの視点で言えば、SDGs の理念や上位計画にあたる国・県の環境基本計画、市の総合計画・関連計画との整合性を保ちながら本計画を策定するというのは非常に難しい作業になるのではないかと懸念しています。環境基本計画で何を求めていくかによってぶれが生じることにならないでしょうか。
事務局	理念に留まらない、行動に繋がるような計画を作っていきたいと思っています。決して、一部の産業振興に比重を置いているのではなく、バランスの取れた計画づくりをしていきたいと考えています。
会長	従来の総合計画と環境基本計画の関係では、環境基本計画は理念的なもので環境保全に適さない対策・施策を抑止する機能であったように思います。しかし、SDGs の考え方は環境に関連した取り組みを産業化していくことも一つの目的にしていますので、5年後10年後の計画がこれに近いものであるとよいと思います。そのような計画にするためにはこの審議会もよりレベルの高いものでなければなりません、今からでもそれを意識した計画づくりは必要だと思います。
委員	次期計画の施策例として取り上げている「省エネルギーの推進」について、ハード対策である省エネ設備の導入推進だけでなく、ソフト対策となる省エネ対策の啓発といった取組を取り入れていただきたいと思います。
会長	今回は計画の骨子段階でありますので、具体的な対策・施策の提案は次回以降行っていきたいと思っています。今回の審議の内容を見ても、まだ少し理念に寄っているように感じますので、絵にかいた餅にならないよう現実視した対策・施策が挙がるとよいと思います。 資料3における、温室効果ガス排出量削減のシナリオ③については、中国電力の排出係数の改善効果に大きく期待しており、それ以外の取組による削減効果が少ないことから、取組者のやる気を削ぐ形になっていると思います。市民の皆様の取組による削減効果が見て取れるように工夫が必要だと思います。

発言者	発言内容
事務局	温室効果ガス排出量で示すと市民取組による努力効果が読み取りにくくなるため、排出係数に影響されないエネルギー消費量を進捗管理の対象とすることも計画を策定していくうえでの展開の一つとして想定しています。
会長	特にシナリオ③における電力会社の排出係数の改善効果については、期待し過ぎている印象を受けます。排出係数による改善効果はシナリオ②のレベルに留めて、省エネ対策をより強化したシナリオを新たに検討してみてもはどうでしょうか。
事務局	シナリオを見直し再計算したものを次回改めて示します。
会長	他に質問はないようですので、令和2年度第1回環境審議会を閉会とします。